



「市内全小学校 100%の交通環境学習実施を目指す」

富山市のりもの語り教育推進協議会 会長

(金沢大学 教授)

松本謙一

富山市では、平成 23 年度からモビリティ・マネジメント施策の一環として、公共交通への関心を高めるとともに、富山市が進めてきている LRT の整備やコンパクトシティの取り組みを切り口としてシビックプライドの醸成をはかるため、小学校学習プログラムの作成に取り組んできている。

具体的には、平成 23 年度から 3 年をかけ、小学校 3 年生から 6 年生を対象とした、交通環境学習のプログラムを多くの先生方の協力と、エコモ財団の支援を受けて作成し、平成 26 年度から富山市内全校へ学習プログラムや教材の配布を開始した。

また、同年『富山市のりもの語り教育研究会』を立ち上げ、富山市・市教育委員会・現場教師らがスクラムを組んで、現場の教員にとって親しみやすく、かつ、教員自らが交通環境学習に取り組む必要があるという自覚を促すことにつとめた。

また、その一方で、『すべての子どもに「交通環境学習」を！』と考え、平成 27 年度には、学校の先生方に人気が高かった小学校 3 年社会科の学習プログラムについて集中的にブラッシュアップを行い、平成 28 年 4 月ついに、全 8 頁の教員用指導書と付属資料（ダウンロード可能）が完成した。

今回のプログラムの特徴は、以下の通りである。

- ① 市内どこにある学校でも、社会が得意でない先生も、楽しく実践できる
- ② 子どもが課題意識をもって、公共交通機関を利用した社会見学に行くことができる
- ③ 社会科の目標を逸脱せず、先生方が交通環境学習に対する負担感なく実践できる

今後は、5 月上旬に、市内全小学校の 3 年生の代表を集めて、研修会を開き、実践への意欲を高めたい。今年度の成果が楽しみである。